

可惜季燕介『ふたりの秘密』の、あなた目線のメモです。
録音データ視聴後にお読みください。

※あなたが本当に『ハメ撮り』にハマっているか否かで一部内容が異なります。

→選択肢 A

【そんなことない】

真面目なお姉さんは、同梱の『memo_A』をお読みください。

→選択肢 B

【そんなことある】

すっかりえっちなお姉さんは、このままお読みください。

■選択肢 B 【すっかりえっちなお姉さん】

会社近くの大きな公園。

シンプルな布で丁寧に包まれたお弁当箱を膝に乗せたまま、緊張で微かに震える手を握りしめているあなた。

『——てかスマホでリアタイ中でしょ』

姉であるあなたを咎めるように低くなった声とは裏腹に、
スマホの小さな画面に映る燕介の口元は愉しげに笑っている。

ことの発端は先日家に持ち帰った『ぬいぐるみ』

プレゼン用の試作品として特別に作ってもらったもので、弟の燕介がモデルだ。

燃えるように深い赤や、光に透ける淡いピンク……。

朝焼けのように変化していく燕介の髪色が好きなあなた。

ぬいぐるみの髪は丁度中間くらいの色合いで、いつでも眺められるようにベッドの枕元に飾っていた。

この“ぬい”には実用的な機能もある。

超小型カメラを内蔵しており、いつでも撮影・録画が可能。

ライブカメラとして現在の様子を確認することもできる。

『もしかしてハマっちゃった？ ハメ撮り♡』

あなたをからかうような、冗談か本気かわからない燕介の言葉。
ごくり…と思わず喉がなる。

今回ばかりは冗談であってほしい。
図星をつかれ冷や汗が頬をつたう。

ひとりで“ぬいぐるみ”的動作チェックをしていたあの日。
録画データを確認中、ふたりの“行為”が撮影されていたことに気が付いた。
快感に歪む自分の表情…獣のように我を忘れ燕介を求める声。
普段の自分からは想像もつかない、完全に“落ちている”姿を見せつけられ、羞恥心と共に湧き上がる強烈な快感。
いけないことだと思いつつ、ハマってしまったあなた。

そんな秘密を燕介に知られたからには、
今夜はきっと優しくて意地悪な声で責められて、
泣いてもやめてもらえないだろう。
盗撮の罪悪感とバレてしまった緊張で震えながらも
『お仕置き』を楽しみにしている自分がいた。

もうすっかりお似合いのふたり。
帰宅後朝まで『ご褒美』を堪能したようです♡